

## 芸術文化推進会議 総合評価

### 総 評

令和5年度は計画実施2年目となる。令和4年度は施設整備を除く25事業を実施したが、令和5年度は新規19事業を含む52事業を展開し、町民が芸術文化に触れることのできる機会がさらに充実したと評価できる。特に、4年ぶりの実施となった小学校アウトリーチ事業や8校中6校が採択された文化芸術による子供育成事業（学校巡回公演等）により、小中学生に対し充実した取り組みができたことは高く評価したい。

また、初めて開催されたみよし芸術祭は、多くの町民が参加することができた。文化会館、各公共施設など町全体がステージとなるよう満遍なく活用したほか、出演者もクラシックから伝統芸能まで、多彩なジャンルにわたった。プロのアーティストから中学校吹奏楽部、文化団体等の地域住民を出演させるなど、質の担保と愛着度の増進がバランス良く多彩であった。

今後の課題としては、出演者を公募するにも何かしらの基準を設けたり、外部助成金を活用した事業展開を行うなど、町の要求と目標を明確に示すと良い。

芸術との出会い、担い手の育成、継承と交流という基本目標に沿って、ターゲットを明確に示しつつ、本計画が確実に実施されていると推進会議は評価する。